

町民の皆様へ

湯沢町長 田村正幸

アルペンスキー・ワールドカップ開催経費の増額について

私は、湯沢町の観光人口が平成4年度の1,045万人（うちスキー人口818万人）から平成24年度には425万人（うちスキー人口256万人）と落ち込む中で、観光の町湯沢の再興と、町民が安心して豊かに暮らせる湯沢町をつくるために、一生懸命働きたいとの思いから、町長選挙に立候補させていただきました。

そして、公約の開花八策の第1番目に「観光産業の基盤整備、500万人観光回復」を掲げました。これを実現させるためには、国内へのアピールはもちろんのこと世界に向けて「日本・湯沢」を発信する必要があると考えていたところ、平成26年1月に全日本スキー連盟(SAJ)からアルペンスキー・ワールドカップの湯沢町での開催の打診がありました。

これが実現すれば、2日間のテレビ放送だけでも国内外に対する「日本・湯沢」の経済効果(広告換算)は15億円が見込まれ、「スノーリゾート・湯沢」を国内外のお客様に広くアピールできる絶好の機会であります。

第三次産業が81%を占める湯沢町、特に観光関連事業者を元気にし、それを湯沢町全ての産業に波及させたいとの思い、更に次代を担う子供たちに世界トップレベルの滑りを肌で感じ世界を目指してもらいたいとの思いから開催地としての立候補を決断しました。そして、組織委員会が設置され全日本スキー連盟(SAJ)、新潟県スキー連盟、(株)プリンスホテルなどと共に、開催実現のための協議を重ねてまいりました。

しかしながら、7月に行われた国際スキー連盟(FIS)の査察におきまして厳しい開催条件が課され、開催のための事業費の増額が避けられない状況となりました。本来、この財源はさらに協賛者を募ることにより対応すべきものでありますが、開催まで残り5ヶ月という状況下において、今回の予算5,000万円の成立がなければ開催準備のための諸契約を締結できず、事実上の大会返上となってしまいます。

私は今後とも全日本スキー連盟(SAJ)並びに新潟県スキー連盟と共に、2月の開催まで協賛金のお願いを続けてまいります。また、今後支出が増えた場合には、全日本スキー連盟(SAJ)の責任において対応することを確認しておりますが、このような事態となってしまったことに対し、私自身も責任を取らせていただき、給料の減額案を議会に提出することといたしました。

今回の件につきましては、町民の皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。

町民の皆様におかれましては、町長として、私がこのワールドカップ開催にかける思いをどうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

(経過報告)

○平成26年1月

湯沢町に対し、全日本スキー連盟からアルペンスキー・ワールドカップを苗場スキー場で開催するために、開催地として立候補するよう要請がありました。

○平成26年2月

全日本スキー連盟が2006年に志賀高原で行われたワールドカップの開催経費を基に、湯沢町での開催費用を約2億5,000万円と見積り、これに係る費用について開催地である湯沢町も2,000万円の負担をすることといたしました。

○平成27年4月

日本スポーツ振興センター (toto) に対して大会運営の助成金を申請し交付決定をいただきました。この時点での収入総額は、各企業からの協賛金の増加により約2億5,000万円の確保ができる見込みとなったことから開催は可能と判断いたしました。

○平成27年7月～8月

国際スキー連盟 (FIS) が苗場スキー場の現地調査を行い、ワールドカップを開催するにあたり、安全面の強化やレースバーンの仕上げ等に対し多くの条件が出されました。その結果、予定していたコース整備等の費用を増額せざるを得ない状況になり、国際スキー連盟等との協議や内部検討の結果、総事業費が3億4,600万円になることが判明いたしました。これを受けて8月7日に組織委員会を開催し協議しましたが、再度予算の見直しを行うこととなり、数回にわたり競技関係者とともに見直し作業を実施いたしました。

○平成27年9月

競技関係者との見直し作業でも予算の縮小にはつながらず、9月4日に組織委員会を開催し協議した結果、約8,700万円の増額が必要であり、他の助成金等の増額を見込んでも約7,000万円の資金不足が生じることとなりました。そして、この負担について、全日本スキー連盟 (SAJ) が2,000万円、湯沢町が5,000万円を負担する方向で合意いたしました。

大会開催まで5か月となり、予算が確定しなければ、大会開催のための資機材購入や諸委託契約、会場内工事等を行うことはもちろん、国際スキー連盟が開催する会議等への出席もできず、事実上開催不能に陥ることから、9月11日に湯沢町議会全員協議会で5,000万円の追加についてご説明いたしました。

なお、全日本スキー連盟 (SAJ) からは、2,000万円のほか、支出が3億4,600万円を超えた場合の補てんについても負担の確約をいただいています。

***組織委員会とは**

全日本スキー連盟・新潟県スキー連盟・(株)プリンスホテル・湯沢町などで構成された本大会を運営する最高意思決定機関。